

研究の種登録申請書

平成 22 年 1 月 26 日

情報・システム研究機構
統計数理研究所長 殿

下記のとおり、研究の種（メタウェア）を登録したいので申請します。

記

研究課題名	幼児の言語獲得過程に関する統計的研究		
分野分類	統計数理研究所内分野	利用条件	<input type="checkbox"/> 自由（要登録）
	主要研究分野分類		<input checked="" type="checkbox"/> 提供者の同意が必要

フリガナ 提供者氏名	石黒真木夫（いしぐろ まきお）	ローマ字	ISHIGURO, Makio
所属機関	統計数理研究所		
所属部局	モデリング研究系		
職 名	教授		
専門分野	情報量統計学		
所在地	〒190-8562 立川市緑町 10-3		
T E L	■050-5533-8536	F A X	■042-526-4335
E-mail	<input type="checkbox"/> ishiguro@ism.ac.jp		
U R L	<input type="checkbox"/> http://www.ism.ac.jp/~ishiguro		

※Web等で公開しない場合は、□を黒く塗りつぶしてください。

研究概要

概要：人間の言語獲得能力には驚くべきものがある。幼児は、特に教育を意図しない日常生活の場で飛び交う会話を聞いているだけでいつのまにか言語を獲得し、使いこなすようになるように見える。しかし、子どもが言葉を発明するわけではない。子どもが使うことばは、その子がいつかどこかで聞いたことばでしかありえない。現在の技術を使えば、子どもが聞いている音、ことばの全てを記録し、解析することが可能であると思われる。

研究チームの構成：統計科学者と児童心理学(?)の研究者。

実験装置：子どもの負担にならない音声記録装置。

留意事項：子どもの人権を侵害する可能性大である。この点への配慮が必要。

発想の経緯

つい最近、2.5才の子がみかんを剥き、それが他の子に食べられてしまったときに「せっかくむいたんにー」と言っただけという話を聞いた。「せっかく」ということばを正確に使っているのである。いつか、だれかが「せっかく」ということばを聞いていたにちがいない。こどもの耳の位置で聞こえるすべての音を記録しておけばそれ以前のいつだれが「せっかく。。」という言葉が発していたか分かるはずである。